

湖東圏域における複数市町連携による公共交通利用促進と利用者増加に向けた10年間の取組

湖東圏域公共交通活性化協議会 事務局長（彦根市交通対策課長） 宮永 幹雄
 一般社団法人システム科学研究所 調査研究部 主任研究員 吉原 俊一
 (株)日本海コンサルタント 計画研究室 担当グループ長 ○ 塩土 圭介

1. 背景と目的

- 滋賀県湖東圏域(人口約15万人)
 =彦根市・愛宕町・豊郷町・甲良町・多賀町「1市4町」
- 公共交通への取組実施前(H20以前)は・・・
 路線バスの相次ぐ廃止、減便による、「負のスパイラル」



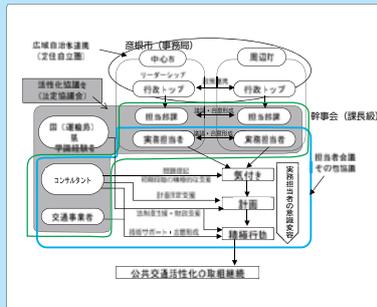
2. 取組の系譜

- 平成20年度から、彦根市単独で取組開始
 (地域公共交通総合連携計画、予約型乗合タクシー等)
- 平成21年度より、周辺4町との「定住自立圏構想」に併せて「湖東圏域」に拡大、1市4町で1つの協議会を立ち上げ、路線バス、乗合タクシー等様々な事業を市町連携で実施

	彦根市	愛宕町	豊郷町	甲良町	多賀町
面積・人口	197km ² ・11万1千人	38km ² ・2万人	8km ² ・7千人	14km ² ・8千人	136km ² ・8千人
平成16年度	彦根市路線バス検討委員会		市内循環バス運行(平成16年度～)		
平成17年度					
平成18年度	彦根市公共交通連携検討委員会				
平成19年度	彦根市路線バス懇話会				多賀町地域交通検討会議
平成20年度	湖東圏域公共交通活性化協議会 乗合タクシー運行開始 連携計画策定	彦根町地域交通サービス検討委員会			多賀町地域交通連携検討委員会
平成21年度	湖東圏域公共交通活性化協議会(H21年 彦根市の同協議会を1市4町に拡大) 連携計画の計画区域を彦根市単独から湖東圏域1市4町に拡大				
平成22年度	エコ交通スタンプ制度 買物客向けバス路線開設				
平成23年度	買物客向け「バス」制度 住民向けMMの実施				
平成24年度					
平成25年度	小学生向けMM教育				
平成26年度	駅(か)短距離)100円運賃				
平成27年度	ご当地キャラへのバス利用促進				
平成28年度					
平成29年度					
平成30年度					

3. 公共交通活性化の推進体制

- 湖東圏域公共交通活性化協議会(法定協議会)が各市町からの分担金を原資として予算を持ち、毎年の事業を推進。
- 協議会の下部組織である幹事会及び担当者会議を設置、市町担当者と交通事業者で実務的な課題を調整



【特筆すべき点】

- 限られた車両等資源の中で「選択と集中」の考えに基づき、メリハリのついた事業実施が可能(例:中山間部の路線は予約型乗合タクシーを活用するとともに、バス需要が見込める路線で増便⇒市町間の調整により、圏域内での一体的な見直しの中で実現)

4. 主な取組内容

(1) 路線バスの継続的改善

- 動態調査結果や沿線工業団地等との意見交換を踏まえ、通勤時や買物時に利用しやすいバス路線、ダイヤの実施

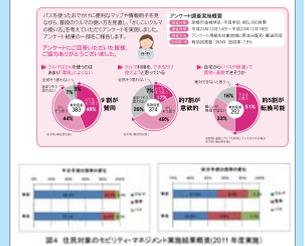
(2) 予約型乗合タクシー

- 鉄道・バスの交通空白地をカバーする形で「愛のりタクシー」として圏域をカバー(活性化協議会(1市4町)が実施主体)
- 運賃施策や乗合率向上のための継続的な取組



(3) 公共交通利用促進事業

- 商店街との連携によるエコ交通スタンプ制度、企業及び路線バス沿線住民対象ならびに学校教育との連携によるモビリティマネジメント
- ご当地キャラ博、交通事業者フェアに合わせた各種啓発活動



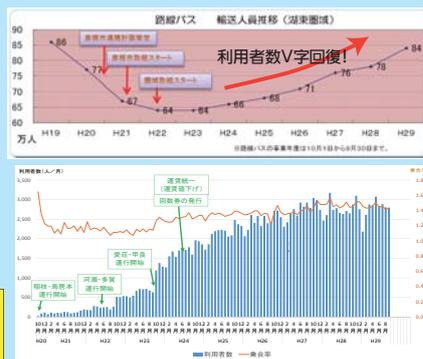
(4) 情報提供事業

- 湖東圏域路線バス時刻表年1回発行(全戸配布)路線図(系統番号対応付き)、時刻表、バスの乗り方などを掲載
- 「公共交通ニュースレター」10年間 年2～3回継続発行(全戸配布)通算29回発行



5. 10年間の取組の成果と考察

- 路線バス、乗合タクシーとも、利用者数はH24年以降増加を続けている。⇒「負のスパイラル」からの脱却



路線バスの利用者増加
 継続的な情報提供の取組(従前よりも時刻表が分かりやすくなった)により、利用者にとって知りたい情報が得やすくなり、利用者増の要因ではないかと考察

予約型乗合タクシー
 運行エリア拡大及び運賃施策等の利便性向上策による利用増加

現在、路線バスと乗合タクシーの役割分担を見直し、あわせて市街地回遊性の向上を目的として「地域公共交通再編実施計画」策定準備中

- 複数の市町及び交通事業者担当者の不断の取組継続により、過度に自動車に依存した地方都市圏においても公共交通の利用者を増加に転じさせることが出来た。